校友時報

第64号
発行所 秋田県立第代高等學校新聞部
電話 254番
編集人 小野孝則
印刷所 大勝堂印刷所

卒業記念号
一面 校長メッセージ、進学、就職状況
二面 市長、PTA会長教師、在校生らの餞
三面 今年の話題について、卒業生のおもいで
四面 進学志望者の学力

祝御卒業

本日三月九日午前十時より本校講堂において、第九回全日制二六一名、第七回定時制四一名の卒業式が挙行される。

三年間共に過したおのづから、樽子山の学舎と恩師、在校生に別れを告げ、それぞれの方向へ巣立つ。

思えば卒業生が入学したのは二十九年の春ちょうど加藤校長の赴任とあゆみを共にした。それから三年は刻苦と精励の連続であったことおもう。然して明日からは社会人として責任ある人間となるのだ。高邁なこの若鷲らの前途を祝す。

〈叩けよさらば開かれん〉

この三月九日新しい能高卒業生として校門を出て行く二六一名の若人の前途の発展を祈るが故に、今後諸君が一個の社会人として世に処する上に必要とおもわれる二三を気付くまゝに述べて見よう。これが単なる老婆の繰言に与るならば幸である。

社会人としての必要條件

その一。須く雄心を去れ。須くは是非とも何をすべきかである雄心は頑是ない考え方、自分中心の考え方の意である。法律上諸君の大部が成人の日を迎えるのは恐らく二、三年先のことだろうけれども既に社会は大人として取扱うであろうし、学生の場合でも高校卒以上となれば知能の点から言つても教養の点から言つても子供扱いはしないであろう。かゝる周囲の眼に対して諸君自身がいつまでも親の膝下に甘えた、学窓に戯れ過ごした、或は友人同志徒党を組んでふしたらの日を過した（若しあるとするならば）過去の夢を貪りつゞけるならば、頑是ない奴だ、雄気愛すべき奴だ位に冷笑されるのが落ちであろう。

その二。眼高手低。私はこれが誰処いくらはく知れたものではないと思う。

卒業生諸君に

学校長　加藤正一

その三。独立独歩一個の社会人として世に処するには周到な判断、豊かな心情、不屈の闘志、これは必要条件である。而して己の信条を通して絶えず此にみがきをかける努力を怠つてはならない。此の修養は生涯を通じての人間修行であつて、俗に鄰は良願つて針ほどかなうと云うことがある。望みは高きに懸いつの日からか頭の隅にこびりついて忘れられない。眼は高きにつけよ、クラーク博士が大志を抱けと云つたのも、理想は高くという意味であるのである。

卒業生諸君の幾多先覚が好模範を残して居ることを想起して欲しい。要は我々自身をやつす者があつたらその望みは半ば以上は達せられたのであろう。文化生活もとより結構である。唯志は主、衣食は従であれと望みたいのである。

（急がるゝまゝに未定稿）

くらしはひくゝ　おもいは高く

このたび学校側が要望している三百坪（一百二十五百円、内地元負担六百万円）に対して県教育委員会側では一百二十坪（一百二十五百万円）と双方の意見はかなり差が生じている。赤字を盾に迫る県、如何としても迫る本校側、微妙な動きである。県体操会の育ての親大田氏は「県の予定している大きさでは三十五年の国体の体操競技場としては狭すぎる」と云う手低。私はこれを贅美な生活態度という位に解決して居た、所が最近オーズウオースの詩に「暮しはひくゝ、おもいは高く」という一節のあることを知つて、我が意を得た様な気がして居る。おもいは高くは前述の通りとして手低は暮しは低くてなければならない。志を遠きに置く者、道を求む者吾諸君の開拓を負担して、何事かを成し遂げようと志す者として腰衣飽食に愛着

建坪数の決定のみ

★…一昨年以来期待されていた本校体育館の建設はこの度…☆
☆…本決りとなつた。昨年の大水で見合わされてから一…★
★…年目の今日、辛くも建設許可が認められたもの。体操…☆
☆…能代に体育館と名のつくものは本校…★
★…体育館の要望は強い。然しながら建設は決定したもの…☆
☆…の県からは一百二十坪のもの、本校が要望する三百坪…★
★…体育館、こゝにまた雄が入り且下県及び本校側で再三…☆
☆…の考慮中である。

東大9 東北大29 早大43

進学志望白書　地方大より中央大へ

今年度卒業生のうち進学希望者は百六十名と決り、昨年の希望者二百名よりはだいぶ下廻る。この進学希望者は全卒業生の約六〇%に当る。

昨年に比し中央の有名校に大いに進出しているのは興味を引いて居る。全国的に工科系が増しつゝあるのに反し、本校のは薬科と経済が大巾に増しているのが今年の特色。早稲田大は例年の二倍、東大は昨年の一名（現役）に比し実に五名（現役）のみも増加するなど如何に今年の三年生の希望が大きいかが必らずしも受験しているとは限らない。

学校名	三十年度（）は現役	三十一年度（）は現役
秋田大	85（42）	65（54）
東北大	15（2）	29（16）
弘前大		11
宇都宮大	14（3）	10（5）
北海道大	11（0）	10（3）
都立大	5（1）	9（6）
浜松大	9（1）	9
育英大	13（0）	9（6）
島根大	16（5）	8
滋賀大	10（1）	7
芸術大	13（3）	7
立教大	5（0）	5（2）
橋大	4（0）	4（1）
千葉大	7（1）	2
山形大	6（1）	43（8）
早稲田大	5（1）	27（10）
中央大	23（6）	25
日本大	13（3）	21
明治大	13（7）	13
法政大	10（7）	3
立教大	19（10）	6（10）
慶応大	4（1）	5
同志社大	12（2）	1
東京大	2（0）	6
防衛大	3	
	（0）	

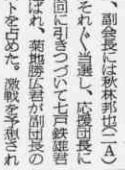
二月九日、予定の時刻より三十分近く遅れ々卒業生の最後の一時々予餞会が行なわれた。

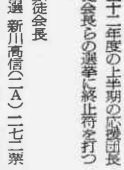
須田校長の挨拶で始まり、卒業生、記念品贈呈の後、若狭前会長学校長の挨拶の後、余興に移る。司会の藤井、石川両君の進行巧みに会場を沸び、一年有志ベテランのクエンマ大王々、二年有志々珍説かくや噺々現代をちょつと皮肉りこつけいに筋を運べば、舞踊々大熱唄い込みクステチコ、ハンテンのイデタチ勇ましく手振り身振りよろしく卒業生を喜ばせた。特別出演の演劇部三年生によるクバントマイムの巧みさに驚かされたり、アンコールのかゝるブラスバントの演奏など一時を惜しむ卒業も全く時を忘れさせられた様な盛況ぶりであつた。昨年よりは断然あか抜けが見られ学生らしい上品な出し物等進歩の跡が見られた。

時を忘る

新川君会長就任を承諾

団長七戸君再選さる





（写真）　右は会長　新川君
左は応援団長　七戸君

一月二十五日告示された「昭和三十二年生徒会正副会長、応援団長、正副団長の選挙」は二十五日に挙行され、会長には秋林高信（A）君が、副会長には秋林邦也（A）君がそれ〴〵当選し、応援団長には前回に引きつづいて七戸鉄雄君が選ばれ、菊地勝広君が副団長のポストを占めた。激戦を予想された二十二年度の上半期の応援団長生徒会長らの選挙に終止符を打つた。

▼生徒会長
当選　新川高信（A）二七二票
次点　石井　宏（D）　六七票
▼生徒副会長
当選　秋林邦也（A）一七二票

就職決定者僅か十六名

バレー部三君東レ入社

今年の就職希望者は七二名で昨年に比べて多く、一月二十六日現在で就職決定者はわずか十六名。これは県内の中小企業方面の開拓がふるわないためのようである。

求人先は金融関係が主であるが、それに決定したものがわずか三名にとどまるしまつである。今後はあまり望めず、たった三、四級合格者の中から予想されるくらい。

尚就職決定者は次の通り。
▼東洋レーヨン盛岡工場　佐藤政広、鈴木建徐、菅原敏▼秋田銀行　清水充▼秋田相互銀行　伊藤政昭、大塚吉則▼東北パルプ　笹村貞夫▼松屋百貨店　高橋琢也、佐々木龍▼帝国石油　高橋琢也、佐々木龍▼石沢商工株式会社　佐藤隆一▼石川経理事務所　松田勇三▼秋田県信用協同組合連合会　本間隆▼菊地材所　大山鉄雄▼東北木材株式会社　梅田政男▼能代官用保証協会　浪間擬郎
▼四級職合格者（一般職）島田拓蹴、高田光、宮腰勝、関根信次（税務）佐々木英男▼三級職合格者　塚本悦子（一般職）

授業料値上げ

授業料が新年度からまた〴〵値上りする。一昨年五〇円、昨年五〇円、今回また五〇円と三年連続の値上げとなる。これは県の赤字財政のしわ寄せが県立学校に及んだもの。しかし、今回は現二年生は過去二回対照となつているので現行通りの六百円。本県の授業料の高額なのは全国の最高を行くものであり、東北一のものであるという。

県高体連

体育賞授與さる

本日の式の際にこの三年間の在学中に活躍された卒業生へ、県の高体連では〻高体連体育賞〻を授与することになつた。

金賞で六名で、そのうち本校は九名で体操部、バレー部の卒業生会員へ与えられる。

授賞者は次の通り。

（体操部）　平川文雄、浪間政郎、塚本惠信
（バレー部）　鈴木探徐、大山鉄雄、菅原貞敬、寺田良照、佐藤政広、佐々木清隆
次点　三浦義輝（D）　八六票
▼応援団長
当選　七戸鉄雄（A）二九二票
次点　菊地勝広（E）二二四票
▼応援副団長
当選　菊地勝広　二五二票
次点　小山　剛（A）　九三票

三点

▼シーズンオフの酷だが昨秋校内をわかせた各種のクラス対抗について考を併する。▼からくして各部とも押し切つた大会だつた雨で惨み二年生の修学旅行で恐百計画のもさからくる雑多な支障場も射野大会の如き旅行の二年チームをおいて駒を進めてしまつたのもあるが▼我々はクラス対抗そのものにつき深慮の余地をもつクラス対抗と名がつく故にその意義を考えた時何とさびしい会ではなかつたか▼これは今年のみに限つたことではない、年に添うマンネリズムがかくさせる。しかし我々はマンネリズムに甘んじてはいられない▼全校生徒全員の参加のもとにレクレーションをたのしみそこにクラスの融和を保ち且つ全校生徒の親睦を図る。そこに学生の若さと純粋さの具備を見たいとクラス対抗を考え直したとき余りにも片寄りすぎてはいないだろうか▼少しすつ考えていこう。先ず主催を敢と生徒会がもち総括的な企画のもとに行なわなければ各部が孤立しまず各種目ともスムースに運ばれない▼従来の勝たんがためのチーム編成であつては全員が参加にあずかる機会がなくなり。必然的に特定の者のみの大会となる。その対策としては個人の出場回数に制限を設ける▼クラス対抗である以上皆たがい参加し、皆なでたのしみそこにクラスの協力をより固めなければならない▼一考としてクラスごとに成績表を設け一種目ごとに点数を加えて行くようにしたならばやがて上にもクラスの熱が上ると優う▼その成績表も生徒会で作製毎月県校にも記入する▼我々団体生活を営む者によつて団体行動の意義を深く〴〵考えてみなければならないのではないか。（愚智子）

健康なればこそ
世は愉し
薬局大越
柳町十字街　電話 452番

薬薬薬
大正チエーン
福田衛生堂
柳町　電話 九九五番

CAMERA と D・P・E
学生の店です
ミクマ写真材料店
館代市北高校前通り

学用品ならなんでも
各種カバン・ノート・鉛筆
安部商店
畠町追分　電話 53番